

# 令和5年度事業計画

県内企業のグローバル市場での競争力強化を支援し、県内産業の自立的発展を目指し、次に掲げる取組みを重点的に進める。

## 1 産学官連携の推進

産学官の連携・交流の更なる活性化を図り、県内企業におけるイノベーション創出並びに成長分野における技術開発・事業化の取組みを多面的に支援する。

また、新たに、県内企業における生産性向上、デジタル化の推進、高付加価値な新サービス創出等の実現に向けた取組みを伴走支援する。

## 2 有機エレクトロニクス産業の確立に向けた取組み

市場における「有機ELといえば山形」ブランドの確立に向け、有機ELディスプレイ分野企業との実証事業を着実に進めるとともに、有機EL照明をはじめ有機エレクトロニクス関連技術の事業化、実用化に取り組む企業を積極的に支援する。

## 3 人材育成機能の充実

ものづくり人材育成の中核機関として、人材育成、研修事業活動を計画的、効果的に実施する。

## 4 工業材料試験及び設備使用対応業務の効率的な実施

ものづくり企業の技術力向上を目指す試験分析業務の着実な遂行と設備開放機器の活用による企業支援を効率的に実施する。

# I 産学官連携促進に関する事業（公益目的事業会計1）

## 1 産学官連携促進事業

事業名	予算額（千円）		事業内容
	R5	財源	
産学官連携 コーディネータ 事業	54,018	県補助 10/10  国補助 10/10	<p>(1) 産学官連携コーディネータによる企業支援 (16,066)            県内企業等の技術開発及び事業化促進のため、産学官連携コーディネータを2名配置し、各産業支援機関等と連携を図りながら、大学や試験研究機関と県内企業等のコーディネータ活動を実施</p> <p>(2) バイオ担当コーディネータによる慶應先端研と県内企業の共同研究等支援 (4,935)            コーディネータを1名配置し、慶應先端研の研究成果と県内企業等とのマッチングを実施</p> <p>(3) 医療等分野総合支援マネジメント事業 (10,655)            マネージャーを1名配置し、医療機関との窓口役となって現場ニーズの収集や県内企業への橋渡しを実施            企業の医療機器等の設計・試作等に対する助成を実施            県内企業が開発した医療・福祉関連機器を医療・福祉関係者向け展示会に出展</p> <p>(4) 外国出願支援事業 (3,480)            外国の特許、実用新案、意匠又は商標の出願を予定している中小企業等に対し、外国出願に要する費用の1/2を助成</p> <p>(5) IoT活用コーディネータ事業【自主事業】 ※            コーディネータを1名配置し、県内企業のIoTの導入・活用促進に向けたコーディネータ活動を実施            ※ 事業予算4,000千円は「2 やまがた産業技術振興基金事業」に計上</p> <p>(6) DX総合推進事業 (18,882)            コーディネータを1名配置し、県内企業におけるデジタル化による生産性向上及びDXの実現に向けたコーディネータ活動、計画策定支援を実施</p> <p>(7) 次世代経営者セミナー【自主事業】 ※            ものづくり企業の経営者層を対象に、機構の支援事業の普及啓発を進めるとともに、ビジネスチャンスの拡大と産学官連携の一層の活性化を目指し、技術経営に関する最新動向を学ぶセミナーを実施            ※ 事業予算500千円は「2 やまがた産業技術振興基金事業」に計上</p>
産学官連携による研究開発プロジェクトの促進業務	32,188	国補助 10/10	<p><b>戦略的支援事業</b>            令和4年度採択の成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省補助事業）の事業管理            ○「高アスペクト比3次元ナノ・マイクロ構造体の製造技術によるバイオメティクスシートの開発」            スズキハイテック株式会社</p>

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
山形県 高度技術研究 開発センター 運営業務	3,012	県委託	県高度技術研究開発センターの受付に係る受託業務 県民(企業や団体等)を対象として行う県高度技術研究開発センターの会議室及び視聴覚機器等の貸出業務

## 2 やまがた産業技術振興基金事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
研究開発支援 事業	70,000	自己財源	<p><b>助成金交付事業【自主事業】</b>  県内中小企業等が実施する新たな技術等の開発や地域の資源等を活用した新製品開発など、新規市場の創出や新事業展開のための研究開発に取り組む事業に対する助成  事業期間 1年以内 (年度をまたいで)  助成率 1/2以内  助成額 4,000千円 (上限)</p> <p><b>I o T活用コーディネート事業【自主事業】 ※</b></p> <p><b>次世代経営者セミナー【自主事業】 ※</b></p>

## II 研究開発プロジェクトの推進事業 (公益目的事業会計2)

### 1 有機エレクトロニクス関連産業集積促進事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
有機EL関連 実証事業	52,015	県補助 10/10	有機ELディスプレイ分野等に参入する企業との実証事業を実施するための実証施設の運営等

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
有機エレクトロニクス 事業化推進事業	45,218	県補助 10/10  自己財源	<p>(1) コーディネータの配置による企業へのサポート (22,718) 県内企業による有機エレクトロニクス関連製品の開発等の支援及び有機ELディスプレイ分野に参入する企業の事業への県内企業の参画に向けたコーディネート活動を実施</p> <p>(2) 有機エレクトロニクス関連製品量産化等支援 (4,500) 県内企業による有機エレクトロニクス関連製品の量産化等への支援</p> <p>(3) 山大と企業の共同開発支援 (4,500) 有機エレクトロニクス分野で山形大学と共同研究開発を行う企業への支援</p> <p>(4) 首都圏営業推進拠点の運営 (13,500) リビングデザインセンターOZONEに設置する有機EL照明のショールームの運営</p>

### Ⅲ 高度技術者の養成に関する事業 (公益目的事業会計3)

#### 1 技術者研修事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
技術者研修事業	6,040	県委託	<p>ものづくりに欠かせない技術に関する研修を実施</p> <p>(1) 品質管理</p> <p>(2) 切削加工・研削加工技術</p> <p>(3) 製品設計・製造に役立つ金属材料学</p> <p>(4) 異物解析技術入門</p> <p>(5) プラスチック材料の射出成形と物性評価</p> <p>(6) 清酒製造技術</p> <p>(7) 食品の安全管理技術</p> <p>(8) ノイズ対策に関わる技術者のためのEMCの基礎と実践技術</p> <p>(9) 落下衝撃試験・振動試験の基礎 (置賜)</p> <p>(10) 不良解析技術 (庄内)</p>

## 2 次世代産業人材育成促進事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
ものづくり人材育成研修コーディネート支援事業	4,096	県委託	コーディネータを1名設置し、人材育成に関する情報収集と情報提供を推進する。
ものづくり産業マネジメント人材育成事業	1,257	県委託	ものづくり企業の経営者等を対象に、マネジメント力を強化する研修を実施

## 3 成長分野参入人材育成事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
成長分野参入人材育成事業	6,072	県委託	<p>成長分野に進出する企業における生産効率向上と現場リーダーの資質向上を図る研修を実施</p> <p>(1) 生産管理研修                      (2) 在庫管理研修  (3) TWI研修                              (4) 生産改善研修  (5) 現場リーダースキルアップ研修 (一般対象)  (6) 現場リーダースキルアップ研修(女性対象)  (7) ものづくり人材初級研修  (8) 発想力・思考力強化研修  (9) 自動車部品ライブラリー「アクセル」管理運営等</p>

## 4 ロボット活用人材育成事業

事業名	予算額 (千円)		事業内容
	R5	財源	
ロボット活用人材育成事業	2,044	県委託	<p>ロボット技術者育成研修</p> <p>ロボットの活用に必要な能力や知識等を体系的に習得した技術者を育成する研修を実施</p> <p>(1) ロボットハンドコース (ハード)  (2) ロボットビジョンコース (ソフト)</p>

#### IV 工業材料の試験分析・評価（公益目的事業会計4）

事業名	予算額(千円)		事業内容
	R5	財源	
工業材料試験 及び 設備使用対応業務	14,277	県委託	<b>1 工業材料試験業務</b> <b>(1)土木建設材料及び工業材料・製品に係る強度試験</b> ・コンクリート類、建設用鋼材の強度試験 ・金属、木材、プラスチック等の各種強度試験 <b>(2)工業材料の物性試験、顕微鏡試験、精密測定試験</b> ・工業材料の各種物性試験 ・光学顕微鏡及び電子顕微鏡などの顕微鏡試験 ・機械部品の精密測定試験 <b>(3)工業材料の化学分析、機器分析</b> ・金属、プラスチック等の化学分析 ・ICP発光分光、蛍光X線装置等を用いる定性・定量分析 ・赤外分光、EDS装置等を用いる定性分析 <b>(4)モデル造形</b> ・インクジェット方式によるモデル造形  <b>2 設備使用対応業務</b> <b>(1)EMC計測などIoT機械及び器具の設備使用対応</b> <b>(2)工業材料試験など設備使用対応</b>  <b>3 実験補助業務</b>

#### ○ 受託試験及び設備使用対応業務の実施計画

実施箇所	項目	点数	
		R5	R4
山形県工業技術センター	土木建設材料・工業材料強度試験	5,000	4,500
	工業材料物性試験等	1,500	1,500
	化学分析・機器分析	500	1,500
	工業デザインモデル造形	100	0
	EMC計測など設備使用対応	1,500	0
小計		8,600	7,500
同センター置賜試験場	繊維物性試験等	0	900
小計		0	900
同センター庄内試験場	土木建設材料強度試験	300	500
	工業材料強度試験等	900	700
	顕微鏡試験・繰り返し試験等	200	300
小計		1,400	1,500
合計		10,000	9,900